



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校
学校便り No.29
令和6年 2月20日
文責：校長 齋藤和彦

新年度に向けて..

～[薫小版]【学年担任制】を検討～

「担任の先生は、〇〇先生だったよー！」
4月始業式、夕食時の話題は、こんなでは？
私から見た、薫小の職員風土(よさ)の特質は、『学年内の協働意識(力と心を合わせる)』にあると感じています。～このよさを更に！
そのために、次年度の[薫小版]【学年担任制】を検討しています。きっと今以上の効果に。

- ◇【学年担任制】とは、全国の先駆的实践では、
 - ・各学級担任を期間ローテーションで交代
 - ・3学級を学年担任4人で指導/支援
 - ・「学年内教科担任制」(加配教員を含)等

ですが、本校ならではの強み(よさ)を最大限に活かして、薫小独自の形で、「子ども達にとって、可能な限り効果発揮できる形」での学校運営を推進したいと考えています。

◇【薫小版】【学年担任制】 ※現段階の案

- ・学年を学年担任で育てる意識の強化
(指導/支援策を学年相談して対応する)
(子どものよさを多様な視点から捉える)
(指導法を共有し、学年学級の安全/安心)
 - ・学級担任間の積極的な交換指導/支援
(給食/清掃や交換授業を積極試行する)
- ※低学年は担任がたっぷりかわることを大切に
※高学年は積極的な交換授業(中学年：道徳等で)

～これにより、全国(全市)的な傾向でもある「教員不足」と「教員年齢構成の二極化」に対応した教育環境をも整えたいと考えます。

学年の先生方がスクラムを組んで、知恵を結集して、より確かな対応ができるようになるとよいと思います。また、学級の問題等を担任一人で抱え込むことなく、学年の先生方の力と心を合わせた対応により、「安心・安全・信頼」にもつながるものと考えています。

(もちろん、管理職と教務部も一緒に..です)

「私達が子どもの頃は..」という昔の学校とは、子どもが育つ社会も..育てる保護者も..発生する諸問題の質も変わってきています。

また、教員の志願者数も..年齢構成も..昔とはずいぶん変化しているのです。

学校にも、これに応じた変化が求められています。



子どもの“つぶやき”



◇ 教室を訪れると..薫の子のすてきな言葉(心/気持ち)に出会うことができます。

「何か..学校にくると気持ちいいんだよなあ。」
(国語にて「薫小の自慢さがし」に、第一声！)

「自分だけでできますから..大丈夫です。」
(職員室入室を手伝おうとすると..2年生の自立！)

「班長さん、終わりました。もっとやることください！」
(縦割り清掃にて、1年生から6年の班長さんへ)

「校長先生は、ここで見てるだけでいいんです。」
(給食配膳準備に1年教室に手伝いに行っ..)

「今は、〇君のことは、ぼくたちが一番よく知ってるから..うまくいくんです！」
(3年ある学級で..わかり合う仲間意識の証)

※「大丈夫です！明日までに覚えてきます！」
(はやまっ子 民話披露の前日～欠席友達の演目をメモで朗読しては？と品竹先生に勧められての6年生の覚悟)

◆◆ 校長室から ◆◆

～「薫小の先生方に..賞状伝達」～

先日、お昼のTV表彰の最後に、先生方への『郡山市教職員研究物展：入賞』を伝達しました。子ども達には以下のように伝えました。
～「薫小の先生方が賞をいただきました！先生方も4月からみんなで、よい授業ができるように勉強.研究してきました。授業の中で考えを伝え合う勉強の仕方..その薫小の先生方の取組がすばらしいという賞です。全校の皆さんも先生と一緒にがんばったからです。なので、薫小の先生方と皆さんがいただいた賞ですね。」～学校の係[研修主任]の先生に、代表で賞状を渡しました。

各教室では、子ども達から先生方に、たくさんの拍手が贈られていたようでした。

(※先生方は、さらにはりきって5校時目を..)

“先生達も勉強しているんだよ。がんばっているんだよ。”ということ(あたり前ですが)を子ども達も知ることって..こんな場があってもいいかなと..TV表彰に加えました。

